

1 章

問題

【1】

A.

全訳

①科学が真理に到達するための努力を要する過程を、あまりにも退屈であるとする思想のある一派がある。この学派に流れる気質は、知識への安直安易な近道を要求するようなものである。知識というのは、たとえ得られるにしても、研究者の多くの集団の長期間にわたる、ひよっとしたら数世紀にわたる、忍耐強い苦勞をもってして初めて、獲得されるものだというのに。今日、人類が知らない分野は種々雑多であり、であるから我々にとり正当な取るべき道とはただ自分の無知を告白することである。この無知は事実を正しく分類することが欠けていることから生じているかもしれないし、事実と思っていることそれ自身が、経験の浅い知性が生み出した矛盾した実体のない、創造物であるという理由から生じているかもしれない。②しかしこの種の無知は、科学が率直に認めることなので、これらの分野を科学が耕したとしても利益をもたらさない土地として囲いで仕切って科学がそこに立ちいる権利を有しない禁猟地としてしまうという試みがなされるのである。

B.

全訳

小説家はなぜ小説を書くのか。小説家は自分自身を表現したいのかもしれないし金が欲しいのかもしれないが、その動機あるいは目的が何であろうとも、彼が用いる方法はまず第一に読者の注意を引きつけ、それを離さないでおくことである。私がしたいと望んだことは、本を読む人々の心を数時間楽しく引きつけておくことだけだった。

【2】

解答例

現代言語学は、ギリシャ語とラテン語に基づく伝統文法では説明できない数多くの言語にも適用できる、より普遍的な文法理論の確立を目指してきた。(68字)

従来の文法はギリシャ及びラテン語に基づくが、現代の言語学の主目的は、これら両言語に偏らない、より一般的な文法の理論を打ち立てることにある。(69字)

解説

方針

論旨の展開は以下の通り。

第1文：伝統的な文法はギリシア・ラテン語の文法を基礎とする。それがほとんどそのままの形で、多数の言語の記述に用いられた。

第2文：しかし、ラテン・ギリシア語や西欧の主要言語と構造的に著しく異なる数多くの言語が存在する。

第3文：それゆえに、現代の言語学の主目的の1つは、ギリシア・ラテン語と類似した構造を持つ言語に偏しない、あらゆる言語に当てはまる文法の理論を打ち立てることにある。

第2・3文の中に key となる接続詞が存在するため、論旨の展開が明確で、比較的要約しやすい英文である。簡単にまとめると、次のようになる。

「Aである」

「しかし [But], Bである (Aに対する反論)」

「したがって [therefore], Cである (結論)」

結論の部分を中心にまとめるとよいだろう。また、『ギリシャ語とラテン語に基づく伝統文法』に代わる『より普遍的な文法』と2つの文法理論が対比されているので、この対比は必ず要約に盛り込むこと。

全訳

伝統的な文法は、ギリシャ語とラテン語を基盤として発展した。そして、それは引き続きほとんど修正されることなく、また、多くの場合は批判されることなく、他の多数の言語の記述に対して適用された。しかし、少なくともいくつかの点で、ラテン語やギリシャ語、また、フランス語、英語、ドイツ語といったより馴染みのあるヨーロッパの言語とは、構造的に著しく異なる言語が多数存在する。それゆえに、現代の言語学の主要な目的の1つは、伝統的な理論よりも普遍性を有する文法理論を打ち立てることであり続けている——すなわち、あらゆる人間の言語の記述に適切で、また、文法構造がギリシャ語やラテン語に類似する言語に有利になるように偏っていない1つの理論を。

注

- ℓ. 2 ◇ subsequently *adv.* < subsequent *adj.* = following ; later 「後の ; 次に起こる」
◇ apply ~ to ... 「~を...に適用する」
◇ minimal *adj.* = very slight *cf.* minimum *n.* ⇔ maximum
◇ modification *n.* < modify *vt.* = change slightly 「~を修正する」
◇ uncritically *adv.* < critic *n.* 「批評家」
◇ description *n.* < describe *vt.*
- ℓ. 3 ◇ there are many languages which (, in certain respects at least,) are strikingly different (in structure) from Latin, ...
○ () 内を挿入と考える。
◇ in certain respects 「ある点において」
○ certain *adj.* = some
○ respect *n.* = particular point 「点」
- ℓ. 4 ◇ be different (in ~) from ... 「(~において) ...と異なる」
◇ the more familiar languages of Europe
「ギリシャ語やラテン語よりも我々により馴染みが深い」ということ。
- ℓ. 5 ◇ principal *adj.* = first in rank ; chief ; main 「主な ; 主要な」
- ℓ. 6 ◇ linguistics *n.* = the scientific study of language 「言語学」
- ℓ. 7 ◇ general *adj.* = including (nearly) all cases of things 「あらゆる事例に当てはまる ;

一般的な」

◇ one = a theory of grammar

◇ appropriate *adj.* = suitable or proper 「適した」

ℓ. 8 ◇ be biased 「偏った；偏見を持った」

○ bias *vt.* = influence unfairly ; prejudice

◇ in favor of ~ 「(判断・意見などが) ~に好意的な, 有利な」

◇ be similar (in ~) to ... 「(~において) …と類似している」

【3】

ポイント

今回より5回連続で, ある続き物の文章を読み解く。何もかもを失った被災者と, ハリケーン被害を政治的に利用しようとする議員たちの相対する意見を読み取ろう。

解答

(1) a

(2) 「全訳」の下線部②参照。

(3) 公営住宅を破壊したのがハリケーンという天災であったため。

(4) a

(5) 公営住宅がハリケーンの被害により一掃され, 新規で分譲マンション事業を立ち上げること。

別解 公共住宅が一掃されたことを被害ととらえず, 新規で分譲マンション事業を立ち上げるための好機であるかのように語ること。

解説

(1) a sea of ~ 「多くの～；たくさんの～」

(2) they は Jamar Perry and his family を指す。

○ end up 「最後には～(に)いることになる」

○ sprawling *adj.* 「(ぶざまに) 広がっている」

○ home to ~ 「～の本拠地で」

○ a trade show 「商談会；商品展示会」

(3) 公営住宅が天災であるハリケーンによって, 一掃されたことを指す。本文18行目 And with that clean sheet we have some very big opportunities. とあるが, これにより, 政治家, 不動産開発業者などは, 公営住宅の代わりにマンション建設という大きな商機を得たことが本文から読み取れる。

※本文には書かれていないが, ニューオーリンズの公営住宅(低所得者向け団地)は, 老朽化を理由に取り壊しを主張する住宅都市開発省と(公営住宅では銃撃事件や薬物にかかわる事件が後を絶たなかった), それに反対する住民との間で訴訟が長引き, 膠着状態にあった。本文4段落目以降の住民たちの発言から, 住民がこの不謹慎な発言に対し, 憤りを感じていることが読み取れる。

(4) 被災者たちの感情をそれぞれの発言に読み取ろう。空所近辺の登場人物を整理すると, Jamar Perry, an older man in line, a mother with two kids は被災者である。それに対

して政治家 Richard Baker や不動産開発業者 Joseph Canizaro は Jamar ら被災者とは相対する意見を持っていることをつかむ。④は Jamar の発言で、「(④) とは思えない。」とあることから、政治家・不動産開発業者が使ったハリケーンの被害を「前向き」にとらえる言葉が入る。⑤と⑥は This isn't (⑤). It's (⑥) 「⑤ではなくて⑥」と、対比の関係にある。⑦にはハリケーンの被害を「前向き」にとらえる言葉、⑧にはそれとは逆の意味合いの語句が入ると推測できる。最後に⑨の直前にある they は 28 these people in Baton Rouge つまり不謹慎な発言をした政治家らを指す。以上より a が正解。

(5) 「白紙の状態から新しく始める」のは、この町の公営住宅の問題に対する解決策のことである。公営住宅が被害にあったので街が「白紙」の状態になり、白紙状態からの「新たな出発」として分譲マンションを建てようというのである。

全訳

2005年9月、私はルイジアナ州バトンルーージュにある巨大な赤十字の避難所でジャマー・ペリーに出会った。宗教団体サイエントロジーの年若い信者たちによってにこやかに夕食が配られているところだった。彼はその列に並んでいた。私にメディア用エスコートがついていなかったため、それまで避難者に話しかけるのがうまくいっていなかったため、白人のカナダ人の私だが、大勢のアフリカ系のアメリカ南部の人の中に、できるだけうまく混ざろうとしていたところだった。私は食料配給の列の、ペリーの後ろに滑り込んだ。彼に昔からの友人であるかのように話してもらえよう頼むと、彼は親切にもそのようにしてくれた。

生まれも育ちもニューオーリンズ州の彼は、洪水に見舞われた町から避難して一週間たったところだった。17歳ほどに見えたが、23歳だということだった。彼は家族とともに避難バスを延々と待ち続けた。バスはやってこず、ジリジリと照りつける太陽の下歩いてきたのだ。②やっとのことでジャマー・ペリーと彼の家族はこの、普段は医薬品商談展示会やプロレス戦『州都大虐殺・鉄格子デスマッチ』の類がよくおこなわれているだだっ広いコンベンションセンターにたどり着いた。今や2000台の簡易ベッドと、怒りに満ち、疲れ切った人々でいっぱいである。それをイラク戦から戻ってきたばかりのいらいらした州兵がパトロールしている。

その日避難所を駆け巡った知らせは、この町出身の著名な共和党下院議員であるリチャード・ベイカーが、ロビイストの一派に対して「我々はずいぶんニューオーリンズの公営住宅を一扫した。我々にはできなかったが、神がおやりになった。」と話したという事だった。ニューオーリンズの最も裕福な不動産開発業者の一人であるジョセフ・カニザーロも、同じような意見を表明していた。「一からやりなおすための、まっさらな紙を手に入れたのです。このまっさらな紙は好機をもたらしたのです。」その週の間ずっと、バトンルーージュのルイジアナ州議会はこの好機を確保するのに一役買おうという企業ロビイストたちでごった返した。好機とはつまり、減税、規制緩和、低賃金労働力、そして「今よりコンパクトで、安全な街」である。——「今よりコンパクトで、安全な町」が実際意味することは、公営住宅を跡形もなくし、代わりに分譲マンションを建てるということだ。一連の「新たな出発」や「まっさらな紙」の話の聞いていると、街道を数マイル行ったところには、有毒物質の混在したさまざまながれきや化学物質の流出や人間の遺体があることなど忘れてしまいそうになった。

ここ避難所では、ジャマーにはこれらの問題の事しか頭になかった。「町がすっかりきれ

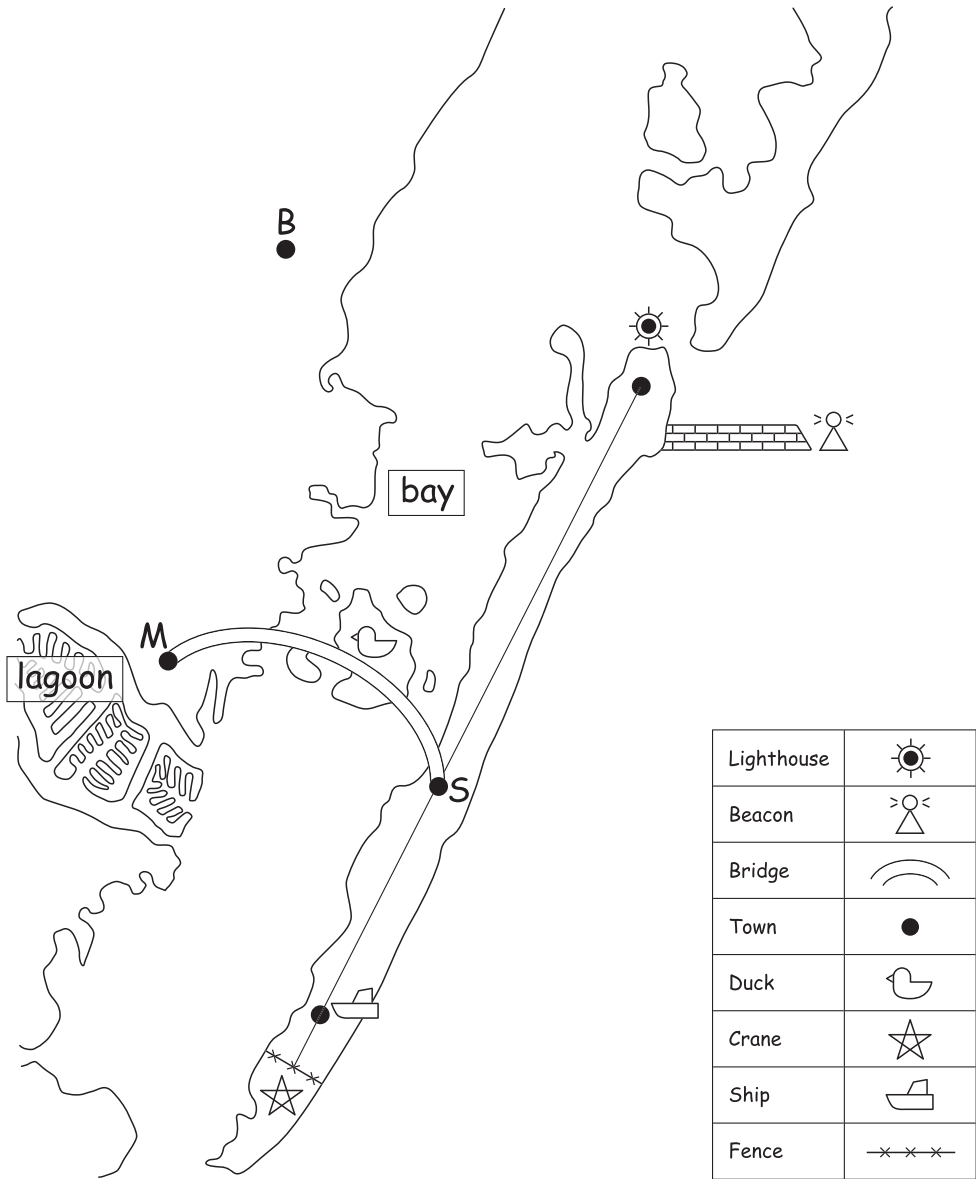
いになった，なんて考えられないね。住宅地区では大勢の人が死んでいるんだよ。死ななくてもよかった人たちがさ。」

彼は静かに話していたが，前にいた老人が聞きつけてくるりと振り向いた。「バトンルー
ジュの連中はどうかしてるんじゃないのか。これは好機なんかじゃない。正真正銘の悲劇じゃ
ないか。あいつらは目が見えんのかね。」

二人の子どもを連れた母親が口をはさんだ。「いいや，あいつらは目が見えないんじゃないよ。性根が腐ってるんだ。ちゃんと目端は利いてるさ。」

[4]

解答



CD 1

Long Beach Island, or L.B.I. as the locals call it, is a long, sandy barrier island in New Jersey. It stretches for about twenty-three miles parallel to the mainland. Between the island and the mainland is Barnegat Bay. Mark it by writing the word bay in the bay.

At the northern tip of the island is its most famous tourist attraction, the Barnegat
5 Lighthouse. Mark this spot by drawing the lighthouse symbol.

The name *Barnegat* comes from a Dutch word, “*barende-gat*,” which means an inlet with breakers. That was the name given to the inlet to the bay by the famous explorer Henry Hudson when he sighted it in 1609. The current town of Barnegat is not on the island, however. It is on the mainland just opposite the lighthouse. Mark the spot by writing the
10 letter “B.”

The lighthouse is open to the public during the summer, but its light no longer guides ships into the safety of the bay. The inlet is now protected by a long stone jetty that extends out into the sea. At the end of this long stone barrier is a beacon with a light and horn. Draw the beacon symbol at the eastern end of the jetty.

15 Roughly in the middle of the island is the town of Shipbottom. Mark this spot by writing the letter “S.”

The town on the mainland opposite Shipbottom is called Manahawkin, a name which comes from a Native American language. Mark this spot by writing the letter “M.” A causeway, or series of bridges, connects the island to the mainland. Draw a bridge between
20 Manahawkin and Shipbottom.

North of the causeway are some smaller islands. These are uninhabited, but attract many hunters during the duck-hunting season. Mark the largest of these islands with the duck symbol.

On the westerly side of the bay, just south of Manahawkin are some man-made lagoons.
25 Write the word lagoon in the northernmost lagoon.

South of Shipbottom is the town of Beach Haven. It attracts many tourists to its many gift shops, including one built inside an old sailing ship. Draw the ship symbol just above the town of Beach Haven.

The last three miles of the southern end of the island are the most beautiful, but they
30 are closed to the public year round. This is unfortunate for tourists, but very fortunate for the many birds and other creatures that thrive in this wildlife reserve. You can get a look at it though the wire fence at the northern end of it. Draw a fence from east to west straight across the island, just a little south of Beach Haven.

You can also see the reserve by renting a small boat and cruising along the beach, but
35 you can't land there and no fishing is permitted. Even an emergency landing is punishable by a \$50 fine, so make sure your boat doesn't run out of gas. Mark the reserve by drawing the crane symbol in it. [495 words]

全訳 |||

ロング・ビーチ・アイランドは地元の人には LBI と呼ばれているが、ニュージャージーにある砂の防波島である。それは、アメリカ本土に沿って、約 23 マイルに延びている。島と本土の間にはバーニガット湾がある。その湾の場所に bay と書いてください。

島の北端には、そこで最も有名な観光名所であるバーニガット灯台がある。この場所に灯台のマークを描いてください。

バーニガットという名前は、白波の寄る入り江を意味する barende-gat というオランダ語が起源である。それは、有名な探検家ヘンリー・ハドソンが 1609 年にその入り江を見つけたときにつけた名前である。しかし、現在のバーニガットの町は島にはない。灯台の真向かいの本土にある。その場所に B という文字を書いてください。

夏の間、灯台は一般に公開されているが、その明かりはもう、船を湾の安全な場所に案内することはない。現在、入り江は海へ延びる長い石の防波堤に守られている。この長い石の防波堤の端には、明かりと警笛による航路標識がある。防波堤の東端に航路標識の記号を描いてください。

島のほぼ中央にはシップボトムという町がある。この場所に S という文字を書いてください。

シップボトムの向かいにある本土の町はマナホーキンと呼ばれている。これはネイティブ・アメリカンの言語が起源の名前である。この場所に M という文字を書いてください。土手でできた橋が連なり、島と本土を結んでいる。マナホーキンとシップボトムの間に橋の絵を描いてください。

土手の橋の北にはもっと小さな島がいくつかある。これらの島に人は住んでいないが、カ

モ狩りの季節にはたくさんのハンターがやって来る。このなかで最も大きな島にカモを示す記号を描いてください。

湾の西側、つまりマナホーキンの真南には、人工の礁湖がある。いちばん北にある礁湖に lagoon という語を書いてください。

シップボトムの南には、ビーチヘブンという町がある。たくさんのみやげもの屋に多くの旅行者が訪れる。そのなかには、古い帆船の中に作られた店もある。ビーチヘブンの町のすぐ上に船のマークを描いてください。

島の南端の3マイルが最も美しいが、一般の人は1年中入ることはできない。旅行者にとっては残念だが、この野生動物保護地区に生息する多くの鳥や他の生き物にとっては幸運なことである。この保護地区の北側の端にある鉄線の柵越しにそこをのぞくことができる。ビーチヘブンの少し南に、島の東から西にまっすぐに柵を描いてください。

小さなボートを借りて海岸沿いをまわることによって、その保護地区を見ることもできるが、陸に降りることはできないし、釣りをすることもできない。緊急事態で下船しても50ドルの罰金が科されるので、船のガソリンがなくならないように注意してください。保護地区の中に鶴のマークを描いてください。

【5】

ポイント

仮定法の様々な形を復習していくことから始めよう。

解答・解説

A.

(1) If, hadn't been もしくは Had, not been

「もし彼の助けがなかったら私は失敗していただろう。」

If it had not been for ~ = Had it not been for ~ = But for ~ = Without ~ はいずれも仮定法過去完了の文脈で「もし~がなかったら」の意味を表す。

(2) I'd (= I had)

「もし彼の苦難を理解していたならばそんなこと言わなかっただろう。」

仮定法過去は「現在についての仮定」を表し、仮定法過去完了は「過去についての仮定」を表す。本問でも if I understood だと「今私が理解すれば」となり、if I had understood なら「あのとき私が理解していたら」という意味になる。帰結節を見ると would not say so 「今そう言わないだろう」ではなく、would not have said so 「あのときそう言わなかっただろう」である以上は仮定法過去完了の if I had understood が答えとなる。あとは I had = I'd と書き換えられればよい。

(3) Should (= If I should fail)

「万一失敗してもまた試みるつもりだ。」

If I fail と直説法の条件節にすると、帰結が I would try なので違和感がある (If I fail, I will try again. なら可)。そのため、If I should fail (= Should I fail) と仮定法の条件節にするのがよい。If を消去するとその後の主語と助動詞は倒置されることに注意。

一般に if S should ~の条件は「『万一～ならば』という意味で、事態の発生は不明だが話し手が可能性が少ないと思っている仮定に使われる。ただし、絶対に起こりえないことの仮定には用いない」と説明される。

(4) Should (= If anything should happen to you.)

「万一何か起こったら、私に電話してください。」

直説法ならば If anything happens to you, と 3 単現の s が付くはずである。そのため、If anything should happen to you, の if を消去して Should と anything を倒置させる。

(5) Were (= If the sea were to dry up.)

「万一海が干上がったって、私は気持ちを変えないだろう。」

If では動詞がなくなってしまう (to dry であることに注意)。そのため If S were to do, という条件節をイメージできればよい。これも If が消去されて倒置になっている。

if S were to ~の条件は全くありえない場合に用いる、とされることもあるが、いわゆる be to do が仮定法になったものも含むため、厳密には可能性のある仮定にも用いられることに注意。

(6) was

「そろそろおいとまする時間です。」

○ It is time + 仮定法過去「～する時間だ」

(7) as

「彼はいつも何でも知っているかのように話してばかりいる。」

○ as if S V (= as though S V) 「まるで S が V であるかのように」

(8) should

「この法案が国会で可決されることが重要だ。」

必要性や重要性を表す形容詞 (important, essential, necessary など) の後には仮定法現在かそれに代わる should do の形が来る。仮定法現在とは端的に言えば動詞の原形であることにも注意。

(9) should

「私たちは直ちに行動するように提案された。」

提案や要求を表す動詞 (suggest, propose, insist, command, ask, require, recommend など) のあとには仮定法現在かそれに代わる should do の形が来る。

(10) rather [sooner]

「家にいるくらいなら出かけた方がました。」

would rather A than B = would sooner A than B = would as soon A as B = might as well A as B 「B するくらいなら A した方がました」という意味の構文。

B.

ポイント

仮定法は直説法の裏返しとも言われる。仮定法の裏に潜む事実を直説法で表現することで両者の違いを再認識しよう。

解答・解説

(1) As you haven't shaved off your beard, you do not look young.

「ヒゲを剃らないから若く見えないんですよ。」→「もしヒゲを剃れば、若く見えるかもしれないかもしれません。」

(2) As I didn't bring my digital single-lens reflex camera, I couldn't take any beautiful pictures.

「デジタル一眼レフを持ってこなかったのが、美しい写真を撮れなかった。」→「デジタル一眼レフを持っていたならば、美しい写真を撮れたのに。」

C.

ポイント

今度は、直説法で書かれている事実に基づき、その逆の内容を仮定法で記してみよう。

解答・解説

(1) If you hadn't eaten too much lunch, you would not be so sleepy now.

「もしお昼を食べ過ぎなかったら、今頃そんなに眠くなっていないのに。」←「たくさん食べ過ぎたので、今とても眠いのです。」

条件節は仮定法過去完了（昔の仮定）だが帰結節は仮定法過去（今の帰結）の形にする。

(2) I wish I could make it tonight.

「今晚都合を付けられればよいのに。」←「今晚都合を付けられなくて残念です。」

○ I'm sorry ~ 「～なんて残念です」 ⇔ I wish ~ 「～なら良いのに」

【6】

ポイント

それぞれの出題意図を正確につかんで、仮定法の理解を深めよう。

解答・解説

(1) **b** 「もしかして私が試験に落ちたらどうすれば良いのだろうか。」

if S should ~ の形にする。

○ by any chance 「ひょっとしたら」

○ fail in the exam 「落第する」

(2) **b** 「もしステーキブーンがどれほど成功を収めるかを知っていたなら、私どもは彼を会社に残していただろう。」

帰結節は仮定法過去完了である。また、even if S V だと「たとえ S が V だとしても」では意味がおかしくなる。

(3) **a** 「もしあなたが宇宙飛行士であるなら、地上の人々にどんなメッセージを送るだろうか。」

if S V の代わりに suppose (that) S V, supposing (that) S V, providing (that) S V, provided (that) S V が使われることがあるが、仮定法の条件として使うことができるのは前者の suppose (that) S V と supposing (that) S V だけである。また、Unless S V も、仮定法の条件として用いられるのは極めて稀である。

(4) **a** 「もし彼らのチームの最後のバッターが遂にツーベースヒットを打たなかったら、彼らのチームは負けていただろう。」

条件節が仮定法過去完了であるため帰結節もそれに合わせる。

(5) c 「もしあなたが助けてくれなかったら、私たちはこのプロジェクトを成し遂げられなかっただろう。」

帰結節が仮定法過去完了であることに注意。Had it not been for your help, = Without your help, = But for your help, となる。

○ accomplish 「～を成し遂げる」

(6) c 「息子をもっと上手くプレーしていたらなあ。」

wish (that) の後には仮定法が来る。

(7) d 「もしもう少し努力していたら、彼女は立身出世していただろう。」

仮定法の条件は必ずしも if 節ばかりではない。このように副詞句が条件を含む場合もある。But for ~ = Without ~ 「もし～がなかったら」とか、Owing to ~ = On account of ~ 「～のために」では意味が通らない。

(8) c 「娘はよくやった。しかし彼女だったらもっと上手く出来ただろう。」

接続詞 but に注意する。なお、She couldn't have done better. は、「彼女はこれ以上上手くできなかっただろう (と言うくらい上手くやった)」という意味になる。

(9) c 「父が助けてくれなかった方がよかった。一人でだって出来ただろう。」

I'd rather = I wish となり、仮定法を伴う。

(10) b 「嵐が私たちの地域を通り過ぎるまで家にいるように勧告された。」

advise は、いわゆる「要求・提案の動詞」であるため、that 節内を仮定法現在にする。もちろん、It was advised that we should stay home ~. としてもよい。

【7】

ポイント

会話を読んで内容をつかむ訓練を行うと同時に仮定法を正確に記述する演習を行う。

解答・解説

(1) ① d

go into labor 「陣痛を起こす」が難しいが、次いで赤ちゃんが生まれたことがわかるので、旅行をキャンセルしたと予想する。

② b

instead of ~ 「～の代わりに」、in spite of ~ 「～にも関わらず」、regardless of ~ 「～には関係なく」、contrary to ~ 「～とは正反対で」

③ d

直前で Mary は金銭面を不安に思っているところから判断する。

○ afford 「～するだけの金銭的余裕がある」

④ c

recommend があるため仮定法現在もしくはその代用である should を用いた選択肢を考える。d では意味が通らない。c にすれば、内容的にも「私たちが売り出すツアーを調べてみることを勧める」となり意味が通る。look into ~ 「～を調べる」

(2) We could have gone (if we'd wanted to).

仮定法過去完了で書く。条件を表す if 節は、この場合は言わなくてもわかるため省略

可能。

全訳

ジョン：昨年僕たちはドイツに行こうとしたんだけど，出発日前日に妻の陣痛が始まっちゃって，旅行をキャンセルしたんだ。

メアリ：へえ，幸せな人ね。ドイツツアーの代わりに赤ちゃんを手に入れたのね。

ジョン：まあね。行こうと思えば行けたんだ。娘が生まれた6時間後に妻は退院出来たから。

メアリ：女の子が生まれたなんて素敵ね。ところで私もドイツに興味はあるけど，旅行できるお金があるかわからないの。

ジョン：実際はそんなに高くないよ。私たちが売り出しているツアーを調べてみるのを勧めるけど。

メアリ：売り出している？あなたが旅行代理店の人だなんて知らなかったわ。

にさせているはずである。(93字)

田舎町の良さはそこの住民である。彼らはお互いを良く知っているため気取る必要がないし、田舎町では住民が地域社会の一部であるという良さもある。田舎町が退屈なのは、その人自身が周囲を退屈にさせているのだ。(99字)

解説

指針

論旨の展開は次の通り。

〔主題〕

小さな町の一番の良さはそこに住む人間である。

↓

〔主題のサポート〕

小さな町に住む人間は嘲笑の対象とされるが、敢えて言う。

〔根拠〕

何故なら小さな町に住む人間は、実際は嘲笑の対象にはならないからだ。

小さな町であれ大都市であれ、平均すればそこに住む人間に大差はない。

→しかし小さな町においてはお互いを知っているため、自分を偽る必要がない。

→人間にとって地域社会の必要不可欠な一部となることは心強い何かがある。

↓

〔結論〕

小さな町が退屈だと思うのは自分が人々を退屈にさせているからだ。

論旨の展開を踏まえつつ、字数以内にまとめるとよい。主題のサポート部分を上手にまとめないとすぐ字数オーバーになるので注意。

全訳

小さな町に関して一番良いことは、そこに住む人間である。私はこのことを敢えて言うのは、どれほど頻繁にその要素、住民の退屈さ、狭い半径の生活と関心事が嘲笑の対象としてとらえられているかを知っているからだ。重要な点は、そのような非難はまったく当たらないということである。そのような人間やそのような状況が小さな町には存在するが、それは同様に大都市にも存在する。というのも、人類の中にはあらゆる種類の人間があふれていて、彼らは平均すればどこでもほぼ同じになるからである。小さな町の居住者は、どこの人間と比べても、少しも劣ることもなければ、また少しも優ることもない。しかし、小さな町においては、あなたは友人、隣人、知人として何十年、あるいは、多くの場合は生涯という長い年月に渡って彼らを知っており、また彼らもあなたの人柄を知っている——酔いを覚ますような、しかしまた勇気が湧いてくる考えである。小さな町においては、あなたは自分を偽る必要はない。あなたはありのままの自分でいられる。これはある者を悩ませるかも知れない。彼らは大都市の持つ無名性の方を好むのであろう。しかし、普通の人間にとって、地域社会の必要不可欠な一部となることの中には、何か心強いものがある。以下のことを確信すべきである。もしあなたが小さな町を退屈に思うなら、欠如はあなたの内にある。あなたは疑いなく周囲の人々を退屈にさせているはずである。

注

- ℓ. 1 ◇ boldly *adv.* < bold *adj.* = confident and brave; daring 「大胆な」
- ℓ. 2 ◇ that element [the people who live in a small town を指す]
 ◇ seize upon ~ = take and use eagerly 「~の上に飛び付く; つかむ」
 ○ seize *vi.* = take hold of ~ 「~をつかむ」
 ◇ subject for ridicule 「嘲笑の的」
 ○ subject for ~ は「ある特定の感情もしくは行為を引き起こす人物もしくは物」→「~の対象」の意。
 ◇ ridicule *n.* < ridicule *vt.* = make fun of; laugh unkindly at
cf. ridiculous *adj.* = absurd
- ℓ. 3 ◇ charge *n.* = accusation 「非難; 告発; 問責」
 ○ charge ~ with ... = accuse ~ of ...
 ◇ simply *adv.* = completely; absolutely 《not を修飾》
- ℓ. 4 ◇ just as there are in large cities = just as there are such people and such conditions in large cities
- ℓ. 5 ◇ supply A with B = supply B to A 「AにBを与える; 供給する」
 ◇ average *vt.* = be (something) as an average
- ℓ. 6 ◇ inhabitant *n.* 「住民」 < inhabit *vt.* = live in
 ◇ no worse (than) = almost as the same as; almost as good as ⇔ no better than
 = almost the same as; almost as bad as
- ℓ. 7 ◇ acquaintance *n.* = person one knows slightly 「知人; 知り合い」
 ◇ over *prep.* = during
 ◇ span *n.* = length of time
- ℓ. 8 ◇ know ~ for ... = recognize ~ as ... 「~を...として知っている; 理解する」
 ◇ what you are 「あなたの人柄; 今のあなた」
 ◇ a sobering but an inspiring thought 「(自分のありのままの姿を他人に知られているという認識は) 酔いを覚まされるけど, 勇気を鼓舞するような考え」《直訳》
 つまり, 「楽しい気分から現実に引き戻されるような居心地の悪さを覚えさせるが, 勇気が湧く考え」ということ。
 ○ sober *vt.* < sober *adj.* = not affected by alcohol
 ○ inspire *vt.* = encourage; stimulate; animate
- ℓ. 9 ◇ pretend *vi.* = make oneself appear to be something in order to deceive others (～のふりをする)
- ℓ. 10 ◇ annoy *vt.* = cause trouble or discomfort to; harass 「~をいらいらさせる」
 ◇ impersonality *n.* < impersonal *adj.* = not referring to any particular person (いかなる特定の個人にも言及しない)
- ℓ. 11 ◇ integral *adj.* = necessary to complete something; essential 「必須の」

【3】

ポイント

フリードマンの提案は資本主義経済の極限ともいえる。バウチャー制度やチャータースクールなどが難しいが、第3段落末尾がヒントになる。政府の介入を極力減らし、市場に任せるべしという自由放任（レッセ＝フェール）の考え方を捉えると理解しやすい。

解答

- (1) e
- (2) d
- (3) 「全訳」の下線部③参照。
- (4) ④ a ⑤ e
- (5) 公的資金を被災した公立学校を再建させるのに費やす代わりに、民営のチャータースクールの建設と助成に充てるような、災害を刺激的な市場の機会と捉える資本主義のこと。(79字)

解説

(1) “Uncle Miltie” が主語, found が述語動詞, the strength to write an op-ed for *The Wall Street Journal* が目的語, three months after the levees broke が「時」を表す副詞語句である。found の直前に来る語句としては副詞であることが条件となる。この点で選択肢 b と d は除外できる。Ninety-three years old and in failing health というのは found the strength するには難しい状態であると考えられるから、「それにもかかわらず」の意である e nonetheless を選択する。

(2) 「ニューオーリンズ州の公立学校を私立のチャータースクールに変えてしまおう」というのがフリードマンの提案の骨子である。教育の在り方が根底からくつがえってしまうのだから, d fundamentally である。

(3)

- ◇ Charter schools are deeply polarizing in the United States がこの文の主節である。
- ◇ and nowhere (is) more (deeply polarizing) than in New Orleans と補って考える。「そしてニューオーリンズ以上に deeply polarizing なのはどこもない」
- ◇ New Orleans, where they are seen by many African-American parents as a way of reversing the gains of the civil rights movement, 「ニューオーリンズというのは、多くのアフリカ系アメリカ人の親たちによって they = チャータースクールが公民権運動の成果をくつがえすやり方と見なされているところである」
- ◇ the gains of the civil rights movement, which guaranteed all children the same standard of education 「公民権運動の成果とは、すべての子供に同じ水準の教育を保証するということである」

これらの意味の各単位を日本語として不自然にならないように構成すること。

(4) 空所④⑤を含む文に続く Within nineteen months, with most of the city's poor residents still in exile, New Orleans' public school system had been almost completely replaced by privately run charter schools. からわかることは、かなりの速さで着実に公立学校がチャータースクールに変えられてしまったということである。この事実をふまえ

れば⑤に e military speed をあて、それと鋭い対比を見せて復興作業は「遅々として、進んでいるのがはっきりわからない」のだから、④に a the glacial pace をあてる。

- (5) 下線部⑥を含む文の these orchestrated raids on the public sphere in the wake of catastrophic events, combined with the treatment of disasters as exciting market opportunities の部分を忠実に解釈・和訳し、そしてさらにカトリーナの被害とその復興過程でフリードマンが提案し実施されてしまったことを当てはめ、字数内でまとめる。

I call

s v

these orchestrated raids on the public sphere (in the wake of catastrophic events,)

o

combined with the treatment of disasters as exciting market opportunities,

“disaster capitalism.”

c

全訳

ミルトン・フリードマンも、ニューオーリンズの洪水災害を好機の到来と見た者の一人だった。彼は、一切の拘束なき資本主義推進の教祖的指導者で、現代の超流動的グローバル経済の教則本を書いた功績で名を知られる男だ。「ミルティーおじさん」という愛称で信奉者たちには知られていた彼は、93歳で、健康状態が悪化していたがそれにもかかわらず、ハリケーンで堤防が決壊した3か月後ウォールストリートジャーナル紙に、論評を書くだけ力は残っていた。フリードマンは論じた。「ニューオーリンズの大半の学校は廃墟となってしまった。そこに通っている子供たちの家々と同様に。子供たちは今や全米中に散らばってしまった。まさに悲劇である。しかし同時に教育システムを抜本的に改革する好機でもあるのだ。」

フリードマンの抜本的なアイデアとは、何十億ドルという再建費用の一部を、ニューオーリンズの既存の公立学校教育体制の再建と改善に費やす代わりに、政府は家庭に、バウチャー(利用券)を供給すべしというもので、家庭は州政府が助成金を出す営利目的の私立学校でそれを使うことができる。フリードマンによれば、この根底からの変革は一時しのぎのものであってはならず、「恒久的な改革」とすることが欠くことができないということだった。

一連の右派のシンクタンクはフリードマンの提案に飛びつき、ハリケーンの去った町に押しかけた。プッシュ政権は、ニューオーリンズの学校を公的資金によって設立され、私企業によって各自固有の規則にのっとり運営される「チャータースクール」に変えるために、何千万ドルかを彼らの計画にあてがって援護した。③チャータースクールはアメリカで深刻な二極対立を生んでいる。それは特にニューオーリンズで顕著である。ここでは、多くのアフリカ系アメリカ人の親たちから、すべての子どもに同じ水準の教育を保証した公民権運動の成果をくつがえすものと見なされている。しかしながら、ミルトン・フリードマンにとって、公立教育システムという考え方がそのものが社会主義の匂いがする忌わしきものなのだ。彼の考えでは、政府の唯一の役割は「境界の外の敵と、内なる同胞の敵から自由を守ること、つまり法と秩序を維持し、私的契約を推し進め競争市場を育てること」である。換言すれば、警察と兵力を供給することであって、無償の教育をはじめとする他のいかなるものも市場へ

の不当な介入ということである。

堤防の補修や電力網の復旧が遅々として進まないことは正反対に、ニューオーリンズの学校制度の競売は軍隊並みの速度と精密さで行われた。1年7か月のうちに、大半の低所得の市民がいまだに避難生活を送っていたにもかかわらず、ニューオーリンズの公教育制度は、私立のチャータースクールにほとんど完全に取って代わられてしまった。ハリケーン・カトリーナの襲来以前には、学区内に123の公立校があったが、今や、わずか4校である。カトリーナ以前には市内に7つのチャータースクールがあったが、今や31校である。ニューオーリンズの教師たちはその代表組織として、強力な組合を持っていたが、組合の契約は破棄され、すでに4700名の組合員教師の全員が解雇されてしまった。若い教師の一部はチャータースクールに、減額された給料であるものの、再雇用されたが、大半の教師は復職できなかった。

大惨事にすぐ続いて、災害処理をまたとない市場の好機として結びつけ、結集して公共の領域に襲撃をかけるこれらのやり方を、私は「大惨事に便乗する資本主義」と呼ぶ。

【4】

ポイント

形容詞節、つまり、関係節を用いた英作文に挑戦してみよう。

解答・解説

- (1) All that glitters is not gold.
ことわざとして著名。
- (2) The wind which blows from the sea feels wonderful.
feel の第2文型を利用すると簡潔に書ける。
- (3) Mozart is a composer whose fame is world-wide.
○ world-wide 「世界規模で」
- (4) The house where the artist was born was about to be bequeathed to the town, when the town council turned it down.
was about to do, when S V (…しようとしたとその時 S + V ~) を利用する。
- (5) Draw a right (-angle) triangle whose sides measure 1cm, 2cm, and Root 3cm [the square root of 3cm] .
○ 「辺」は英語で side と言う。cf. the three sides of a triangle
○ right triangle は正三角形ではなく直角三角形を意味することは覚えるべき。
cf. right angle (直角)
- (6) There used to be three strange-looking men who stood at the side of the road.
There is 構文を利用するとよい。
- (7) Fast food restaurants suit those who have to keep moving.
「席のあたたまる暇のない」→「絶えず動き回っている」と読み換える方がわかりやすい。
「おあつらえ向き」も「～に似合う；都合がよい」と読み換えて、解答例では suit を用いている。
- (8) Many beautiful parks are spoiled by empty cans and paper that people have thrown away.

- spoil 「～を台なしにする」
 - throw away 「～を捨てる」
- (9) The fire engine had trouble getting to the narrow street where the house was on fire.
- have trouble ...ing 「...するのに苦労する」
 - on fire 「燃えている」
- (10) She lost her mother in the year that she graduated from the university.
- graduate from ~ 「～を卒業する」

【5】

ポイント

形容詞節とは関係詞 (who, which, that, when, where など) によって導かれる節で、文中の名詞・代名詞 (これらは先行詞と呼ばれる) を修飾するものを言う。ここでその基礎を確認していく。

解答・解説

- (1) as 「すべての年齢の子供に興味を与えるような本を書くのは難しい。」
先行詞に such があるので which ではなく as が入る。
- (2) where 「新しいスーパーの店内には実演販売が行われる食品コーナーもある。」
The new supermarket contains a food corner. + Sales demonstrations are held in it.
in it が関係副詞 where になる。
- (3) which 「これは、すべての子供に付与しなければならない権利のひとつだ。」
This is one of the rights. + Every child must be entitled to them.
to them が to which となる。いわゆる '前置詞 + 関係詞' の形。
- (4) whom 「この金庫は許可を与えられた人のみが開けることができる。」
This safe can be opened only by those (people) . + Permission is given to them.
to them が to whom となる。(3) と違い先行詞は人であるため whom になる。
- (5) when 「私達が月に旅行できるような時がすぐに来るだろう。」
The time will soon come. + We can travel to the moon then.
then が関係副詞 when になる。

【6】

ポイント

【5】 で見たように「形容詞節」とは「関係詞が導く従属節」なので、この設問は「関係詞を用いて1文にきなさい」というのと同義である。またその際には、どの英文を主節とすべきかを決定する内容把握力も必要となる。

解答・解説

- (1) Stephen is the boy who I think will succeed in life.
「ステーブンは、立身出世するだろうと思う少年だ。」
he → who にする。

- (2) The lady who came in your absence yesterday is now at the door.
「昨日あなたが不在のときに見えた女性が今玄関にいます。」
she → who にする。
- (3) What did you do with the ruffled cap which you used to wear?
「よく被っていたフリルの付いた帽子はどうしたんですか。」
全体としてまとめると疑問文になるので、後者を主節にして1文にする。which は that でもよいし、省略してもよい。
- (4) The man, whose wife is a Japanese, doesn't know Japanese at all.
「その男性は、奥さんが日本人なのに、日本語をまったく知らない。」
his wife → whose wife となる。
- (5) I lived in Kyoto for two years, during which time I visited almost all the temples.
「私は京都に2年住んでいましたが、その間にほとんどすべてのお寺を訪れた。」
during that time → during which time とする。この which は関係形容詞と言われる。原則として非制限用法で用いられて and [but] + this [that ; the] の意味になる。
- (6) Christmas is the day when we celebrate the birth of Christ.
「クリスマスはキリストの生誕をお祝いする日だ。」
then を関係副詞 when にする。
- (7) Foods that you may eat every day which you actually don't like will digest poorly.
「毎日食べるかもしれない食品で、かつ、あなたが好きではない食品は、消化が悪いだろう。」
第3文に will digest があり「消化が悪いでしょう」と未来のことを表しているの、これを主節に設定するのが書きやすいだろう。すると、第1文の such foods と第2文の them が関係詞になって foods を修飾する。このように複数の関係詞節が接続詞を介さずにつながるものを（関係詞の）二重制限（二重限定）などと呼ぶ。二重制限では、初めの関係詞が省略されることがあるが、2番目（以降）の関係詞は省略しない。また、訳す際にも原則として前の関係詞節から訳していく。

【7】

ポイント

形容詞節と言っても、先行詞の後に漠然と置かれているわけではなく、元来あった英文の一部が関係詞として節の先頭に来ることで出来ている。それぞれの英文が、どのような接続関係になっているのかを考えながら解いていこう。

解答・解説

- (1) d 「その日は、始めは天気がよかったが、最後にはひどい嵐となった。」
opened の主語になる関係代名詞 which を選ぶ。It opened brightly. という英文を考える。
- (2) c 「科学技術は、私たちの親の世代ですら信じられなかったであろう世界を作り上げたということを、私たちは皆気づいている。」
which は形容詞節内で、believe の目的語になっている。Even our parents could not have believed it possible. という英文を考える。

- (3) c 「窒素は、人間の健康のために必要とする栄養分を人間に与えてくれる植物にとって、必要不可欠なものだ。」

which he needs for good health という形容詞節にすればよい。目的格の関係詞 which が省略されている。He needs them for good health. という英文を考える。

- (4) c 「もし化石燃料を使い続ければ、大気中の二酸化炭素濃度は上昇し、地球を覆い尽くして地球を危険な状態にまで達するところまで行ってしまおうだろう。」

It will blanket the earth and reach a dangerous level at the point. という英文から at which が答えになりそうだが選択肢にない。そのため at which を意味する関係副詞 where を選ばばよい。

具体的な場所と言えなくても、point (点) とか case (場合) などのように広い意味で場所と考えられる語が先行詞に来るときには関係副詞 where が用いられる。

2章

問題

【1】

A.

全訳

地球の気候は、私たちがまだ完全に理解していない、微妙で複雑な方法で相互に作用し合う要素の組み合わせで決まる。その増加はこれまでの100世紀の間に起こったことがあるものより遙かに急速であるが、20世紀の間に観察された温暖化は、自然のさまざまな変化から生じたものかもしれない。その上、将来の状況を予測するために使われる超大型コンピュータによるシミュレーションは正確ではないかもしれない。

B.

全訳

ビクトリア時代の子供たちは、表面上はよくしつけられていたが、実はひどい怒りを抱えている場合がしばしばあった。そしてこれが10代後半に吹き出したものだった。当時の小説を読むとよく長男と父親、あるいは娘と母親の典型的ないさかきが出てきて、その典型的ないさかきが、息子や娘が家族のもとを去って長い間戻ってこないという結果になることもある。

C.

全訳

自然との関係において、昔の人間は弱く自然は強大で、人間がほとんど自然の奴隷になってしまうほどだった。したがって、人間が、両者の相互の立場が逆転するような未来、つまり人間が主人で自然が奴隷となるような時代を夢想したのも当然であった。

D.

全訳

①一般的な意見にもかかわらず、また学校での指導を考えるともっともなことなのかもしれないが、しろうとが数学を無視しようと決め込むのは間違いである。数学はテクニックの集まりではない。テクニックは実のところ、最も重要でない面であり、②色を混ぜ合わせることが絵画を表すには不十分であると同様に、テクニックは数学を表すには、はるかに不十分なのである。このテクニックとは、動機や推論や美そして意味を奪われた数学のことである。もし数学の本質をある程度理解すれば、現代生活や思想においてのその重要性を主張することは、大切だとわかるだろう。

【2】

解答例

小さな町の良さはそこに住む人間である。彼らはしばしば嘲笑の対象となるが、平均すれば大都市の人間と変わるところはない。小さな町を退屈に思う者は、自らが周囲の者を退屈

3章

問題

【1】

A.

全訳

①活字の究極的な重要性と力は、そのすぐれたイメージによってではなくて、抽象的な概念を伝達しうる力によって表される。ある人の受けた正規の教育がいかに集中的、または長期的なものであったとしても、もし抽象的な思考というものができなければ、ただ単に中途半端に教育を受けたことにすぎないのだ。

意志決定における最も肝要な要素とは、連続的思考である。その思考こそが抽象的思考が意味するものなのだ。抽象的な概念をある人の頭脳から他の人の頭脳に移すという点において、活字の速さと正確さに匹敵する伝達手段は他には存在しない。

もし哲学をなくしてしまう方法を探しているのなら、ぜひとも活字をなくしてしまおう。というのも活字は本質的に概念の領域だからだ。

②書物を読むことと所有することの間には、偶然でも付随的でもない、ある関係が存在する。概念に心を動かされた人々は、そのことに関して自分なりの言葉で、また自分の都合のよいときに考えたいものなのだ。

B.

解答

(1) asked (me) whether [if] I had just been with Peter Brunet.

(2) a

(3) 「全訳」の下線部◎参照。

解説

(1) 伝達動詞は ask、接続詞は whether [if] を用いる。ここで注意しなければならないのは、時制である。‘Have you just been with Peter Brunet?’ は asked にあわせて、過去完了形にしなければならない。したがって、asked (me) whether I had just been with Peter Brunet. となる。

(2) 直接話法で、現在完了形を用いた前文がヒント。

(3)

- if only briefly 「たとえ一時的であったとしても」
- inherit O from ~ 「～から O を受け継ぐ；O が～から遺伝する」
- intonation 「イントネーション；声の抑揚」
- manners of speech 「話し方」
- admired 「称賛されている」
- missed 「惜しまれている」

全訳

大学生の頃、ある友達と食堂で話していた。彼はますます困惑して、おかしそうに私を見て、それから「さっきまでピーター・ブルネット先生と一緒にだったの？」と聞いた。どうして彼が知っているのか見当がつかなかったが、実際に私は先生と一緒にいたのである。ピーター・ブルネット先生はとても好かれていた。そして私は教室から急いで先生と一緒に出てきたのである。友達は笑って「そう思った。話し方が先生そっくりになっているよ。声なんか本当に先生そっくりだ。」と言った。◎たとえ短い間であったとしても、称賛されていて、今ではないことが非常に惜しまれている先生から、私はイントネーションと話し方を「受け継いだ」のである。

C.

全訳

食堂でお酒を囲んで集まっている老人たちを、扇子を持っていないで手で口元を隠して話しながら壁に沿って並んでいる婦人たちを、そして体を左右に揺らしたり、スキップしている若い踊り手を観察しながら、彼女は見ていた。その時、まるでこれらの馴染みのある人物たちが幽霊であるかのように感じられるほど、一瞬にして全てが大きく変わってしまったという思いが、彼女の頭に突然に、冷たく、ぎょっとするように浮かんだ。

彼らは同じように見えるが、(以前とは) 違うわ。何かしら？ 5歳年を取ったということだけか？ 違うわ、時間の経過以上の何かだわ。④彼らから、彼らの世界から、何かが失われてしまった。5年前には、安心感が彼らをすっぽりと、とても優しく包み込んでいたため、彼らはそれに気付いてさえいなかった。その庇護の下で、彼らは輝いていた(のに)。今ではそれがなくなってしまい、それと共に懐かしいわくわくする感じ、つまりは楽しくて興奮するような何かがすぐに起こりそうな懐かしい感じ、そう、彼らの生活様式の懐かしい魅力がなくなってしまったわ。

彼女は自分自身も変わってしまったことに気付いていたが、彼らの変わりようとは違っていた。そのため彼女は混乱していた。彼女は座って彼らを見つめ、⑤彼らの中では自分自身が異質な存在だと感じた。まるで自分が別世界から来て、彼らには理解できない言葉を話し、また自分も彼らの言葉を理解できないのではないかと思ってしまうほど自分が異質で孤独だと感じたのだ。

【2】

解答例

北米の現代教育を無意味なものにしているのは、万人平等の民主主義の誤用である。現実の能力差を見ずに、能力の低い者を救うために最低の基準の教育課程を組むことによって、優秀な生徒を台無しにしている。(96字)

解説

指針

論旨の展開は次の通りである。

第1文 : 北米の現代教育を無意味なものにしているのは、万人平等の民主主義の誤用である(主題)

第2・3文：普通の場合は万人平等を信じていない（主題のサポート）

第4文：万人平等という考えに忠実になろうとするばかり、優秀な生徒を犠牲にしている（結論）

第5～10文：優秀な子供よりも平均的な子供を基準にしている（結論のサポート）

要旨は「主題 ⇒ 主題のサポート ⇒ 結論 ⇒ 結論のサポート」という展開になっている。まとめる際は、第1文と第4文を中心にまとめるとよい。ただし、内容的に肉付けをするために、また字数に余裕があるので、第5～10文の内容に触れた方がよいだろう。その際に、‘excellence vs. not too bright’ ‘able pupils vs. the slow learner’ ‘the excellent boy vs. a dull or lazy child’の構造をふまえてまとめる。

全訳

北アメリカにおける現代教育の殆どを無意味なものにしてしまっているのは、人は皆生まれながらに平等であるという民主主義的な信念を誤用しているだけのことにある。普通の人にとって重要なあらゆることにおいて、このことを信じている者はいない。すなわち、訓練を受けていないスポーツ選手が訓練を受けたスポーツ選手と互角である、言い換えれば、反射神経の鈍い少年がベーブ・ルースやテッド・ウィリアムズのように野球ができる、と普通の人とは東の間であっても信じることはない。しかし教育では、人は皆生まれながらに平等であると信じることは都合がよく、この世の誰もが思い出せる限りはずっと、このことが主要な問題になってきた。この民主主義的な考えに忠実であろうと、我々の学校は何年もの間、優秀な子供が犠牲にされている仕組みを支えてきた。あまり聡明でない知性の水準に、文字通りカリキュラムが左右されており、能力のある子供たちは習熟の遅い者たちのペースに学習を合わせるよう強いられている。このことは私が学校に通っていた時も既に同じであった。それ以来、新しい理論の洪水がこの仕組みになだれ込み、その結果、当時の進歩的な教師や親たちまでも脅かしたことであろう。教育哲学のなかでも、鈍くて怠惰な子供を優秀さを競う競争にさらすことは実に残酷なことであると主張するものがあり、その結果、ABCのような評価を与えることは廃止されている。飲み込みの悪い子供は落第すると精神疾患になってしまうと主張されている。このような考えをもつ人々には、欲求不満によって優秀な子供が同じような結果に陥ってしまうということは、ちっとも思いつかないのである。

注

- ℓ. 2 ◇ misapplication *n.* < misapply *vt.* ⇔ apply *vt.* 「～を適用する；応用する」
◇ all men are created equal 「人は皆生まれながらにして平等である；人は皆平等に造られている」（アメリカ合衆国の独立宣言の言葉）
- ℓ. 3 ◇ matter *vi.* = be important 「重要である」
◇ the common man does not (for an instant) believe …
○ instant = an extremely short period of time ; a moment
- ℓ. 4 ◇ fighter *n.* 「スポーツ選手」
◇ or *conj.* 「すなわち；言い換えれば」
- ℓ. 7 ◇ be true to ~ 「～に忠実である」
- ℓ. 9 ◇ literally *adv.* 「文字どおりに」 < literal *adj.* 「文字の」
- ℓ. 11 ◇ ~ has invaded the system with results which would have horrified

- would have done : 過去の事柄に対する現在の推量
- ℓ. 13 ◇ expose ~ to ... 「～を…にさらす」
- ℓ. 15 ◇ turn ~ into ... 「～を…に変える」
 - ◇ It never occurs to people who ~ this that ... 「…ということを～人が思い付くことはない」
 - occur *vi.* 「ふと浮かぶ」

【3】

ポイント

冷戦下の1960年代, アメリカは「第2のキューバ」の出現を阻止するために, ラテンアメリカ諸国に対し, 内政干渉を繰り返した。チリやアルゼンチン, ブラジル, ウルグアイなどアメリカを後ろ盾に資本主義経済を選択した第3世界諸国は, 必ずしも民主的な政府ではなく, 軍事政権であったが, フリードマンの理想とする徹底した自由主義経済改革には, 皮肉にも自由ではなく弾圧により民衆をコントロールしていく軍事政権の親和性が高かった。こうした「資本主義」諸国で, 思想対立する人々の拷問・連れ去りなどが組織的に行われていたのは裏歴史である。

解答

- (1) exploit
- (2) 「全訳」の下線部⑥参照。
- (3) ① a facilitated ② c shock treatments ③ e kind
 ④ d inequality ⑤ b through
- (4) a

解説

(1) まずは Friedman first learned how to (a) ~ . という形に注目。how to (a) は動詞 learn の目的語になる〈疑問詞+不定詞〉の表現。よってカッコ内には動詞の原形が入るとわかるだろう。

次に第一段落の関連部分をまとめると,

- ①フリードマンはニューオーリンズのための論文を新聞に寄稿した。
- ②それはニューオーリンズというアメリカの中規模都市の教育制度を民営化することを提唱していた。
- ③それは彼の市場原理主義にのっとった資本主義を推し進めるためにニューオーリンズの危機的状況につけ込むことにはかならなかった。
- ④フリードマンの生前最後となったこの提案は, 終始一貫して自由主義経済を提唱しつづけた彼らしい提案であった。

くらいになるだろう。

これをふまえて, 再び②を含む文に戻る。文全体の意味は, 「フリードマンは1970年代半ばに大規模なショックや危機に (a) する方法を学んだ。」なので, 第一段落内の exploit を入れると文法的にも意味的にも文が成り立つ。

(2)

- ◇ Not only ~ but also … の呼応表現を捉える。
- ◇ Not only という否定の副詞語句が強調のために文頭に移動し、それがきっかけとなり、節内の S + V が疑問文の語順に倒置したことを捉える。
- ◇ be in a state of ~ 「~の状態に (ある)」
- ◇ following ~ 「~の後で」
- ◇ coup 「クーデター (武力政変)」 フランス語の coup d'etat から。
- ◇ be traumatized 「精神的な外傷を与えられた；心に傷を負った；トラウマを抱えた」
- ◇ hyperinflation 「ハイパーインフレーション；超インフレーション」

(3) 空所のある文を、文たらしめる要素を考え、品詞を絞り込み、前段落までで述べられていたことの論述展開から、まっとうな意味を構成し得る選択肢を選ぶ。

- ① 動詞の過去形、文の V であり目的語に the adjustment を置いて文意が成立するもの。
- ② with his own の後なのだから、原則として名詞。
- ③ a different と of の間なので名詞を想定。
- ④ How can this (④) be maintained 空所には単数の名詞が入ると想定。この文の主語となるもの。
- ⑤ どこから始めてもよいが、まずここに前置詞 through を埋めてしまって if 以下が「電気ショックの衝撃を利用せずして」と読めることに気が付くと、他の空所も埋まりやすくなるだろう。

(4) a 「フリードマンには主要な政治指導者、影響力を持った経済学者、決定的な行政上の権力を持つ人々といった、多くの著明な信奉者がいた。」

本文1段落目に書いてある内容と合致→○

b 「いわゆるシカゴ学派とは、フリードマンが一連の経済学の講義を行った日曜学校である。」

本文にはこのようなことは書かれていない。本文中の school は「学派」の意味で「学校」という意味ではない→×

c 「北・中南米地域の中規模都市の公立校の多くが、民営化されると、シカゴ学派革命と呼ばれることがある。」

「シカゴ学派革命」とは、当時フリードマンが教鞭をとっていたシカゴ大学で学んだ経済学者によって遂行された、市場原理主義を掲げた改革（具体的には「減税、貿易自由化、各種業務の民営化、社会支出の削減、規制緩和など」(本文2段落目))のことで。単なる学校の民営化だけではシカゴ学派革命とは呼ばれない。→×

d 「1970年代にピノチェトは拷問によってもたらされた痛みの影響下で、チリを社会主義的政策の確立における主導国にした。」

この構文では、拷問による痛みの影響下にあったのはピノチェトという意になってしまうが、実際には拷問を行ったのがピノチェト(本文3段落目)。それ以前に、ピノチェトがなしたのは自由主義経済改革である。→×

e 「1970年代半ばにピノチェトがフリードマンの助言に従って以来、どこかの政府が安上がりな改革を求める際には、その政府のリーダーはそれまでよりもよりシヨッ

キングな計画を好んだ。」

本文は経済改革を題材にしているのであって economical（安上がり）な改革の話ではない。→×

全訳

フリードマンが書いたニューオーリンズのための新聞の論評は結局彼の最後の提案となった。彼は1年もたたずに2006年11月16日に94歳で亡くなった。アメリカの中規模都市の学校制度を民営化することなどは、彼にとってはもしかしたらささやかな関心事だったように思えるかもしれない。なにしろ、過去半世紀における最も影響力のあった経済学者として称えられ、彼を信奉する者たちの中には、複数のアメリカ合衆国大統領、英国首相、ロシアの新興企業家たち、ポーランドの財務大臣、第三世界の独裁者、中国共産党書記長、国際通貨基金（IMF）の理事、アメリカ連邦準備制度理事会（FRB）の過去の議長3名がいたのだから。それにしても、彼の市場原理主義にのっとり資本主義を推し進めるためにニューオーリンズの危機的状況につけ込み利益をあげるという提言は、彼の最盛期に自分自身を「日曜日に教会で説教をする昔ながらの牧師」と表現した、5フィート2インチ（157cm）の身長に尽きることのない活力をみなぎらせていた大学教授のこの世に決別を告げる言葉として奇妙にふさわしくもあった。

フリードマンが、大規模なショックや危機につけ込み利益をあげるやり方を最初に身に付けたのは1970年代半ばのことで、彼がチリの独裁者アウグスト・ピノチェト將軍の経済顧問を務めた時のことだ。⑥ピノチェトの暴力的なクーデターのあとで、チリ国民はショック状態にあっただけでなく、国は強烈なハイパーインフレーションに大打撃を受けていた。フリードマンはピノチェトに矢継ぎ早に経済改革を強行するよう進言した。減税、貿易自由化、各種業務の民営化、社会支出の削減、規制緩和などである。結果、チリの人々は公立学校がバウチャーを財政基盤とする私立学校に取って代わられるのを目にすることとなった。チリの経済改革は地球上で今までに試みられたもっとも苛烈な資本主義改革で、非常に多くのピノチェト下の経済学者がシカゴ大学でフリードマンのもとで学んでいたため「シカゴ学派」革命として知られるようになった。経済の転換をスピーディーに、突然、広範囲に敢行すれば、人々の中に「変化への適応を促進する」心理反応を引き起こすだろうとフリードマンは予想していた。彼はこの痛みを伴う戦術を、経済的「ショック治療」と呼んだ。それ以来の数十年間、政府が徹底した自由市場政策を強行するときはいつでも、一気呵成のショック治療、いわば「ショック療法」こそが方法として選ばれてきたのだ。

ピノチェトはまた彼独自のショック治療を使って変化への適応を促進した。これらの治療は政権の多くの拷問室内で、資本主義改革を邪魔するのではないかと思われた人々の精根尽き果てた肉体にもたらされた。ラテンアメリカの多くの人々は、多くの人々を貧困に追い込む経済ショックと、違う形の社会があってもいいと信じた何十万人の人々を罰した拷問の蔓延との間に直接的なつながりがあることを見た。ウルグアイの作家エデュアルド・ガレアノは世に問うた。まさしく「電気ショックの衝撃を利用せずして、こんな不平等がまかり通り続けられようか」と。

[4]

解答

(1) **d** (2) **c** (3) **d** (4) **b** (5) **c**
(6) **a** (7) **c** (8) **d** (9) **c** (10) **d**

Script

CD 2

W : Today we are pleased to have as our guest Dr. Gary Beringer one of the most prominent environmental activists in the United States. Good afternoon, Dr. Beringer. Thank you for agreeing to appear on our show. You became a powerful voice for protecting the environment years before most of us ever heard the words
5 “environmentalist” or “green.” What led you to become an environmental activist?

M : I joined the environmental movement because of an issue that dramatically — and alarmingly — demonstrates the connection between science and social action: nuclear weapons. These weapons, created by a small elite of physicists and chemists, now remain a threat to all of human society and the natural environment.

10 World War II was barely over when the United States and the Soviet Union — not content with the wartime bombs that killed hundreds of thousands of people in Japan — began testing new and ever more powerful ones, creating tremendous amounts of radioactivity that spread through the air worldwide and descended as fallout. Many atomic scientists, alarmed by the consequences of their work during the
15 war, protested. But the tests continued. They were done essentially in secret. The scant information coming from the Atomic Energy Commission informed the public that the radiation produced was confined to the test area and, in any case, “harmless.” The commission had concluded that the radioactive debris would remain in the stratosphere long enough to become harmless.

20 W : We now know that their conclusion was wrong. How could such an error have been made?

M : The AEC included a virtual army of highly skilled scientists. Although ingenious

enough to design nuclear bombs of increasingly devastating power, they somehow failed to notice that rainfall washes suspended material out of the air, or that children
25 drink milk and concentrate iodine in their growing thyroids. I don't believe that the Atomic Energy Commission's failure was due to anything as complex as a cover-up, but the real reason, though simpler, was just as damaging. The AEC scientists were just so narrowly focused on making the United States a nuclear superpower that they failed to recognize facts — even widely known ones — that were outside their limited
30 field of vision.

W : How did the truth about the dangers of the testing finally come out?

M : After 1954, when some of the secret reports were made available to the public, independent scientists were able to study the fallout data that AEC scientists had gathered but failed to understand. The new studies proved that they had greatly
35 underestimated the dangers. For example, E.B. Lewis, a scientist at the California Institute of Technology, showed that iodine 131, which is contained in nuclear fallout, could cause cancer in children. This radioactive element would fall out of the atmosphere in rain. The rainwater would be then be taken up by grasses eaten by cows, which finally passed on the iodine 131 to children through their milk. Other
40 scientists followed with reports on other dangers.

W : But, in the end, wasn't it public protest that stopped the tests?

M : Yes, but it was the independent scientists, outside the Atomic Energy Commission, who understood their obligation to society; it was they who met society's need for the truth. When the Committee for Nuclear Information was organized in 1958, we brought
45 scientists and concerned citizens together. We showed the public how splitting a few pounds of atoms could turn something as mild as milk into a deadly global poison.

W : Let me interrupt you here for a moment, Doctor. We have to pause for a commercial break. Then I'd like to talk about your more recent activities. [593 words]

W：今日は嬉しいことに、米国で最も名高い環境活動家の1人である Gary Beringer 博士をゲストにお招きしております。こんにちは、Beringer 博士。この番組への出演をご快諾いただきありがとうございます。博士は、私たちの多くが「環境保護主義者」とか「グリーン」といった言葉を聞くようになった何年も前から、環境保護の強力な唱道者になっていらっしゃいますね。環境活動家になったきっかけは何だったのですか。

M：私が環境運動に参加するようになったのは、科学と社会的な活動のつながりを劇的に、そして警鐘を鳴らすように示すあるひとつの問題、つまり核兵器のためです。こうした兵器は物理学者と化学者の少数のエリート集団によって作られ、現在人間社会全体、それに自然環境にとって脅威であり続けています。

第2次世界大戦が終わるとすぐに、非常に多くの日本の人々を殺した戦時中の爆弾にも満足していなかった米国とソビエト連邦が、新たに、以前にもまして強力な爆弾の実験を始めました。爆弾の実験は、大気を通じて世界中に拡散する大量の放射能を産み出し、そしてそれは放射性降下物として落下しました。原子力学者たちの多くは、戦時中の自分たちの仕事もたらした結果に驚き、抗議しました。それでも実験は継続されました。実験は、まったく秘密裏に行われました。原子力委員会から出されるわずかばかりの情報が、一般の人々に知らせたのは、発生される放射能は実験地域内に限られるし、いずれにしろ「無害である」ということでした。委員会は、放射性粒子は、無害化するのに十分な期間、成層圏にとどまるであろうという結論を出していました。

W：現在では、その結論が誤りであったことが分かっています。どうしてそのような間違いが起こってしまったのでしょうか？

M：AEC には、非常に高いスキルをもつ大勢の科学者がいたのです。破壊力がどんどん大きくなる核兵器を考案するほど頭がよかったのに、彼らはどういうわけか、雨が浮遊物質を大気中から洗い流してしまうこととか、子どもがミルクを飲んで発達中の甲状腺にヨードを蓄積してしまうことには気づかなかったのです。私は原子力委員会の不手際は、隠蔽といった複雑なものによるとは考えていません。しかし、本当の理由は、より単純なわけですが、とにかく被害をもたらすものだったわけです。AEC の科学者たちは、米国を核保有大国とするということにばかり注目していたために、事実、非常に広く知られたものであっても、彼らの限られた視野の外にある事実を認識できなかったのです。

W：実験の危険性に関する事実は最終的にどのように明らかにされたのですか？

M：1954 年以降、秘密の報告書の一部が一般の人々に公開された時、独立系の科学者たちが、AEC の科学者たちが集めていたけれども理解できていなかった降下物のデータを調べられるようになりました。新たな調査により、彼らが危険性をかなり過小評価していたことが証明されました。例えば、カリフォルニア工科大学の科学者 E.B. Lewis は、放射性降下物に含まれるヨード 131 が、子どもにガンを引き起こす恐れがあることを明らかにしました。この放射性物質は雨に混じって上空から落ちて出てくるものです。雨水は牛が食べる草に取り込まれ、ヨード 131 はミルクを通じて最終的に子どもたちに受け渡されることとなります。他の科学者たちもこれに続き、その他の危険性に関する報告を出しました。

W：でも、最後に実験を停止させたのは市民の抗議ではありませんでしたか。

M：そうです。けれども原子力委員会の外にいる独立系の科学者たち、社会に対する自らの責任を自覚していた彼らこそ、事実を求める社会のニーズを満たしたのです。1958年に核情報に関する委員会が組織されたとき、私たちは科学者と不安を感じている市民を引き合わせました。私たちは市民に、数ポンドの原子を分裂させることが、ミルクのようにマイルドなものを、世界中の致死の毒にしていまいかねないことを示しました。

W：ここで少し割り込ませてください、博士。コマーシャルの為、一旦お休みします。その後で、博士のより最近の活動についてお話ししたいと思います。

【5】

A.

解答

- (1) a but b as well as c not, as well
- (2) b Every [Each] time
- (3) b unless

解説

- (1) 「～ばかりでなく…も」の表し方には、
 - a not only [just ; merely ; simply ; alone] ~ but (also) …
 - b … as well as ~
 - c not merely ~ but … as well [too]
 などがあるが, not only ~ but (also) … が not ~ but … (～でなくて…) の形だとわかっていれば, only 以外にも just, merely, simply, alone などでも使えることがわかるはず。
- (2) 「S' が V' する度に, S は V する」の表し方には、
 - Every [Each] time S' + V', S + V.
 - Whenever S' + V', S + V
 などがある。また, この文は She *never* coughed *without* feeling a good deal of pain. のように書き換えることもできる。
- (3) 「～である。ただし, …の場合だけは(例外的に)～でない」という論理構造を表すのに, 英語では '～ unless …' という形を用いる。なお, b の that 節の would, worked は仮定法ではなく, she *will* fail the exam unless she *works* hard の will, works が時制の一致を受けたもの。

B.

ポイント

接続詞 that はさまざまな意味で用いられる。それぞれの英文中で使用される that の用法を考えながら解いていくこと。

解答・解説

- (1) d 「私が直接出席できるようにこの会議の日程を変更してくれませんか。」
so that S may ~ (S が ~ するために) の so が省略されたもの。
- (2) a 「その申し出を拒否したいということを明らかにせねばならない。」
○ make it clear that S V 「S V を明らかにする」
it は形式目的語で that 節が実質目的語となる。
b や e も入りそうであるが, 他の小問を合わせて考えると, a が正解になる。
- (3) e 「月がとても明るかったので懐中電灯を使わなくても彼の顔が見えた。」
so ~ that …構文。
- (4) b 「あの衝撃的な事件が昨年起きたのは, 私達が今立っている場所だった。」
It was ~ that …の強調構文で, It was と that に挟まれた語句が強調される。
- (5) c 「よいカウンセラーを探す際には注意することが必要だ。」
that you be careful ~ は仮定法現在。つまり, '必要・重要'の形容詞や'提案・要求'の

動詞の後に続くものとする。

【6】

ポイント

接続詞と言っても、等位接続詞と従位接続詞、順接や逆接、時や条件を表す接続詞など多種多様なものを学習してきたと思うが、ここでは、それらの知識を簡単に見直しておきたい。

解答・解説

(1) if 「明日の朝彼は家にいるかどうか聞いてください。」

if (whether) S V で「S V かどうかということ」という名詞節をつくる。「もし～なら」という意味ではない（これは副詞節の場合である）。

(2) that [because] 「彼の成功の理由は、あらゆる努力をしたということだ。」

本来、'理由 (reason)' が主語である以上、論理的に考えて (S = C とすると) 補語に because 節が来るのはおかしいとされていたが、最近では because 節を許容する傾向が強い。

(3) Suppose 「もしあなたが 10 億円持っていたら、それで何をするつもりですか。」

If S V = Suppose S V = Supposing S V = Providing S V = Provided S V とされるが、仮定法の条件節としても使われるのは If S V と Suppose S V と Supposing S V のみ。また、Provide S V や Supposed S V という形は存在しないので注意。

(4) before 「冷めないうちに食べてくださいよ。」

before S V は「S が V する前に」という意味から転じて「S が V しないうちに」と訳せる場合があるので注意。

(5) that 「その女優が結婚したという知らせは本当のはずがない。」

○ the news that S V 「S V という知らせ」

この that は同格の接続詞。The actress got married. が完全な文になっていることにも注意。

(6) before 「彼はまもなく日本に来るでしょう。」

○ It will not be long before S V 「まもなく S V」

before S V の部分は「時・条件を表す副詞節」であるから現在時制になることに注意。

(7) so that 「その傷がちゃんと癒えるように治療を続けなければなりません。」

文意を考えて、so that S may [can ; will] ~ (S が V するために、S が V するように) という目的の副詞節にする。

(8) that 「彼女はたまたま家にいなかった。」

○ It (so) happens that SV. 「たまたま S が V のようなことが起こる。」

(9) and 「彼女は皿を洗ってそれを乾かしました。」

dried them の them が指しているものを考えると the dishes しかない。つまり dried の主語は She と考えるべきである。

(10) but 「確かに彼は格好いが、心優しいとは思いません。」

○ It is true ~ , but ... 「確かに～だがしかし…」

【7】

ポイント

等位接続詞は何と何をつなげているのかを常に考える態度が必要である。また、接続詞として転用される語句については出来る限り覚えてしまうこと。

解答・解説

- (1) c 「母とは、最初の教師であり、また最も重要な教師であり続ける。」

等位接続詞の and が何と何を接続しているかを考える。is と remains をつなげている。remind は「～を思い出させる」という意味で不適。

- remain C 「Cのままている」

- (2) d 「もしミュンヘンでの乗り継ぎを厭わなければ今日の午後にウーンに着くことができる。」

- provided S V = if S V (【6】(3)の解説参照。)

- as far as S V 「SがVする限り」《範囲を限定》

- unless S V 「SがVでない限り」

- A as well as B 「B同様にAも」

- (3) d 「車を走らせようとした途端、エンジンがどこかおかしいことが分かった。」

- the moment S V = as soon as S V 「SがVするや否や」

although や even if は文法的には入るが、意味から考えて「最も適当」ではない。however (しかしながら) は接続副詞と呼ばれ、単独で文をつなげることは出来ない。

- (4) b 「ジェーンはかなり不正直だ。それゆえ、彼女の言うことには気をつけたほうがよい。」

意味を考えると順接でつなげるべきであるから therefore (それゆえ) を入れる。なお、本問の選択肢 (however や meanwhile など) はいずれも厳密には接続詞ではない (接続副詞と言われる)。この英文で接続詞の働きをしているのは ; (semicolon) である。

- meanwhile 「その間に ; 他方では」

- moreover 「さらに ; その上」

- (5) d 「知っての通り、自分の面倒を見られない限り、他の誰かの面倒を見られるはずはない。」

文章の意味を考えると unless 以外はおかしい。

- unless S V 「SがVしない限り」

- (6) a 「『合理的な』や『驚かせるような』などの大半の形容詞は、それが修飾する名詞の性質や特徴という観点で段階づけられるが、他方、『死んだ』とか『完全な』といういくつかの形容詞は、そういう段階づけはできない。」

while (しかしながら ; 他方で) という接続詞に着目して解く。while の前後で対照的な事柄が述べられていることに気がつけばよい。なお、absolutely は副詞のため、この空所には入らない。

- (7) c 「あなたがた皆に加われたら大変嬉しいのですが、ただ時間が無いのです。」

単に that では意味が通らない。only には接続詞の用法があり、only (that) S V で「ただ (しかしながら), S V」という意味になるのは入試では盲点の1つ。

- (8) d 「今やインターネットが必要不可欠なインフラとして機能しているの、ウェブの

スペシャリストは、かつてないほど多くのことができる。」

○ now (that) S V 「今やSはVなので、SがVする現在では」

なお、Once (that) S V (いったんSがVすれば) も入らないわけではないが、now に比べると、最も適当な選択肢とは言いがたい。

(9) c 「消費者が主にデザインで製品を選ぶ限り、よりよいデザインを求めた競争が続いていこう。」

as long as S V も as far as S V も「SがVする限り」と訳せるが、前者は‘条件 (SがVならば)’を表すのに対して、後者は「SがVする範囲内で」の意味になる。

cf. As far as the eye can see, there is nothing but snow.

(見渡す限り雪しかない。)

(10) d 「彼の能力が大変向上したので、どんなに困難であっても、彼自身で平易でスムーズにならないものはなくなっていた。」

so ~ that …構文の so greatly が文頭に出た形であることに気がつけばよい。

○ render O C 「OをCの状態にする」

(11) d 「彼は7月に脳梗塞のうこうそくを患って以来、リハビリを受けてきている。」

○ since S V 「①SがVして以来 ②SはVなので」

○ in case S V 「①もしSがVなら (= if S V) ②SがVするといけないので」

○ for fear (that) S V 「SがVするといけないので」

○ undergo 「～を経験する」

○ rehabilitation 「リハビリ」

○ stroke 「脳梗塞；脳卒中」

(12) b 「需要が高まるにしたがって、物価も上昇するだろう。」

according to + 名詞 (～によると、～にしたがって) はよく知られているが、according as S V (SがVするにしたがって) という形も覚えておく。

(13) d 「彼は刑務所から逃亡するや否や、再び逮捕された。」

(= As soon as he escaped from the prison, he was arrested again.)

これまでに何回も出てきた形である。

○ scarcely [hardly] ~ when [before] … 「～するや否や…」

(14) c 「オリビアはジェイコブに涙を見られないように顔を背けた。」

○ lest (for fear) S should ~ 「Sが～するといけないので、Sが～しないように」

○ so that S V 「《目的》SがVするために 《結果》そのためSがVする」

○ whether S V 「《名詞節》SがVするかどうかということ 《副詞節》SがVであろうとなかろうと」

(15) c 「知ってる？ デイビッドは運転できないのに赤いスポーツカーを買ったんだって。」

even if S V と even though S V は異なる。even if は条件を強めて「仮に～だとしても」の意味だが、even though は譲歩を強めて「実際には～だけれども」という意味になる。

本問では「実際に運転が出来ない」ことを強めているから後者を選ぶべき。